

# たより

〒037-0305

青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8

TEL : 0173-57-9022 FAX : 0173-69-2788

E-mail : t\_gijyutu\_c@maff.go.jp

HP : <http://www.rinya.maff.go.jp>

/tohoku/syo/gizyutu/

## 森林技術・支援センター業務の一部を紹介

今年度の当センターの業務をいくつかご紹介いたします。

一つ目は、森林3次元計測システムの試行です。近年、森林調査による災害が増加傾向にあり安全で効率的な作業を実現するため、レーザー計測による森林調査が注目されています。このような中、東北森林管理局では令和3年度から森林3次元計測システムOWLを導入し、データの蓄積と分析を行っています。センターでも様々な林分状況（樹種、植生の繁茂状況等）を対象に調査を行い実測結果とOWLによる調査結果を比較することで、どのような林分で有効か検証を進めています。



(レーザー計測装置)



(伐採跡地での意見交換会)

二つ目は、ヒバ林復元プロジェクトです。日本三大美林のひとつであるヒバは、かつては津軽・下北半島を中心に豊富に存在していましたが、成育面積や良質な大径木が減少している状況にあります。このような中、東北森林管理局では、スギ等の人工林内においてヒバの稚幼樹が天然更新により旺盛に発生している林分を対象とし、ヒバを主体とする林分へ誘導する取組を推進しています。取組開始から5年経過し中間報告を取りまとめるため、関係者による意見交換や現地調査等が行われました。

三つ目は、当センターの重要な使命である「情報発信・普及」に関する業務です。先日行われた第26回東北森林科学会大会において、早生樹の「ユリノキ」に関する報告を行いました。初めての学会大会への参加だったので、準備段階から多くの方にご支援をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。大会期間中は様々な方から貴重なご意見をいただきましたので、可能な限り、今後の試験研究に反映していきたいと考えています。



(講義風景)

もう一つ最後にご紹介します。様々な機会を捉えて情報発信をしていますが、先日は「技術開発とは」というテーマで新規採用者等を対象とした研修の講師を担当しました。今回は県職員の方も参加されていまして、外部機関への情報発信もできました。  
(業務係長 青山)

## 12月1日付け人事異動 着任のご挨拶

令和3年12月1日付けで森林技術・支援センターの副所長を拝命しました後藤です。

当センターでは、東北地方の地域特性に適した森林づくりに向けて、東北森林管理局管内に試験地等を設けて、大苗植栽や下刈の省力化などの技術開発を行い、国有林野の管理経営、民有林への普及・支援に取り組んでおります。

森林技術・支援センターでの勤務は初めてですが、関係機関や各署等の皆様のご指導、ご協力を賜りながら、また、今まで諸先輩方が長年の現地調査等で培われてきた、自分にとっても関心の高い青森ヒバを始めとする研究成果等を紐解きながら、宮越家等の歴史ある観光施設の見学なども楽しみつつ、微力ではありますが、森林・林業の普及・支援に努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

(副所長 後藤 昭吾)

❖ お世話になりました ❖ ～ 令和3年12月1日付け人事異動 ～

・ 米代東部森林管理署総括森林整備官 柏崎 清文 (センター副所長)

### ～編集後記～

今年度の「技術開発課題」に取り組むにあたり、関係各位の皆さまからご協力いただきまして、無事に現地調査を完了させることができました。本当にありがとうございました。

毎年開催されています「森林・林業技術交流発表会」で、当センターから青山業務係長が発表しますので、発表内容などはセンターたよりにてご紹介します。

では、皆さま、体調管理に気をつけて、良いお年をお迎えください。

